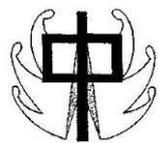


上越市立柿崎中学校だより 令和4年10月18日発行



第6号

せいしゅんふたたびきたらず

## 青春不再来

柿崎区法音寺 392-1 TEL:536-2496 <http://www.kakizaki-j.jorne.ed.jp/>

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。

「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

深まりゆく秋、生徒はますます学校生活を充実させています

校長 大塚 啓

まだまだ汗ばむ日があったり、急激に冷え込む日があったりと、寒暖差の激しい日々が続いています。天気の良い日のグラウンドでは、秋の雲をバックに赤とんぼが無数に飛び交っています。そんな光景を見ていると、秋が深まってきたなと感じます。

9月末には、運動部1,2年生の上越合同新人大会と、科学部の上越市科学研究発表会が行われました。そのときの生徒の様子や感想などを少しお伝えしようと思います。

新人大会については、選手が真剣に勝負している姿を一目見ようと、競技会場を見て回りました。新しいチームになり、暑い夏の練習を乗り越え、一回りたくましく成長した生徒の姿が印象的でした。そして、柿崎中の生徒は、どの会場でもマナーよく、礼儀正しく、覇気のある返事や行動、はつらつとした姿を見せてくれたことも素晴らしい点でした。3年生から1,2年生に伝統がちゃんと引き継がれています。試合では、全力を尽くす姿が随所に見られました。しかし、ふだんの練習の成果を十分出せればいいのですが、作戦がうまくいかなかったり緊張があったりなどで、なかなか思い通りいかず悔いが残ったという選手もいたようです。今回の大会でつかんだ自分の課題、チームの課題を意識して、秋～冬の練習を積み重ねてほしいと願っています。



科学研究発表会では、科学部の生き生きとしたステージ発表の姿を見ることができました。プレゼンテーションも見事なものでした。顕微鏡写真が鮮明で、審査員に褒められる場面もありました。科学部生徒のあふれる探究心、日頃の熱心な取組を十分に感じる事ができました。この発表をステップに、また新たな課題を設定して粘り強く取り組んでほしいです。



さて、来る10月21日には合唱コンクールがあります。私にとっては、柿崎中の生徒の合唱を聴くのは今回が初めてです。生徒には、「保護者の皆さんは、みんなの一生懸命に歌う姿、元気で伸びやかな歌声を楽しみにしています。みんなで感動の歌声を共有したいですね。」と先日の全校集会で伝えました。入場制限をしながらの開催となりますが、ぜひ聴きにおいでください。お待ちしております。

最優秀に柿崎中の岸田さん



県大会は17日に燕市で

ふいにボールが私のところへとんできた。懸命に打ち返したが、ボールはネットに吸い込まれていった。ゲームセット…。

この瞬間、私たちペアの負けが決まり、柿崎中・女子テニス部の地区大会団体戦は準優勝という結果で終わりました。「あんなに努力したのにどうして報われないのだろう！」憤りのような思いが胸いっぱい広がりました。

中学校生活最後の地区大会で、私たちは団体戦優勝を目指していました。メンバーの一人として、私は、どのゲームも落とすわけにはいかないと覚悟で、この大会に臨んでいました。

私のプレーは、いつもあと一歩ということが多く、チームの仲間にフォローしてもらってばかりでした。だから、最後の大会では、常にゲームを自分のものにし、チームを優勝に導きたいと考え、様々な努力を重ねてきました。

部活動の時間はもちろん、自宅に帰ってからも練習しました。苦手なボレーの強化や、父と母に手伝ってもらってのサーブ練習、ユーチューブの解説動画を参考にした自己分析、何が足りないのかを見つけては練習に取り入れました。

技術的な弱点に加え、私には、ミスプレー後の気持ちの切り替えが悪いという最大の課題もありました。この課題に対しても、やはり練習の中で自分と向き合い、切り替えられるように自分を鍛えました。

こうして、少ない時間でも、ささいなことであっても、できることはすべてやり、私は団体戦に臨んだのです。あと一戦をものにすれば、上越地区大会を優勝で飾り、県大会出場に花を添えることができます。

「この調子なら…」チームの誰もが勝ちを予想して迎えた私たちのゲームは、予想に反してミスが続き、相手に先制点を許してゲームを落としました。しかも、私のボレーミスでゲームが終わるといって、最悪のシチュエーションでした。

「努力が報われない」と感じたことは、何度もあります。ピアノの発表会、書初め大会の作品、どれも目標に向かい時間をかけて精一杯努力したにもかかわらず、思い通りの結果は得られませんでした。「努力したのに…」そんな思いばかりが強く残っています。

地区大会が終わって気持ちが落ち着くと、私は、不思議なくらいにすがすがしい気分になりました。そして、優勝することがすべてではなく、本当に目指していたのは別のところにあったのではないかと考えてきました。

努力しても報われないことはたくさんあります。むしろ、そういったケースのほ

うが多いというのが現実ではないでしょうか。もちろん、思い通りの結果が得られず報われなければ、言葉にできないほど悔しく、応援してくれた人たちに申し訳ない気持ちでいっぱいになります。何をすることも嫌で、投げやりな気持ちになることすらあります。

でも、こんなに悔しいと思えるのは、自分が努力を重ねてきた証であり、努力しなければ味わうことのできない感情なのです。

そして、悔しさをもっと努力しようとするパワーにかえることもできます。優勝を目指し、来る日も来る日もテニスの練習を頑張ることができたのは、ピアノの発表会や書初め大会、いくつもの負け試合があったからだと私は気づきました。そして、悔しい思いをするたびに、私は成長してきました。さらに、私の努力を支え、様々な思いを共有してくれる人が、そばにたくさんいることを実感しました。

努力しても報われるとは限りません。けれど、目標に向かってあきらめずに努力をすれば、いつか何かの形になって私のもとに戻ってくるはず。それは、自分が願ったとおりの結果ではないかもしれないし、何の前触れもなくやってくるかもしれません。ですが、努力したということは、まぎれもない事実です。

「報われなかったっていいじゃん。努力するって素敵なことなんだよ！」そう考えて前に進むことは、自分の未来を切り拓く力となるに違いありません。

上越、妙高両市の中学生が日頃考えている意見を発表する「わたしの主張上越地区大会」(上越地域振興局健康福祉環境部主催)がこのほど行われ、上越市立柿崎中学校3年の岸田美月姫さんの主張文、「未来を切り拓く力」が最優秀賞を受賞した。岸田さんは上越地区代表として今月17日に燕市で開かれる県大会に出場する。

上越地区大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、出場者による通常の発表形式からオンライン発表での開催となった。本年度は7校100作品から校内選考などを通過した学校代表7人が出場した。

最優秀賞に選ばれた岸田さんは、懸命に努力し、優勝を目指してソフトテニスの地区大会団体戦に臨んだが、準優勝で終わってしまったことを書いた。悔しい気持ちが残ったが、「悔しいと思えるのは自分が努力を重ねてきた証」とし、「努力しなければ味わうことのできなかった感情だった」と述べた。そして、悔しい思いをするたびに自分が成長できたこと、自身の

努力を支え、様々な思いを共有してくれる人がそばにたくさんいることを実感したとし、「努力するって素敵なことだよ!」と考え、前に進むことは自分の未来を切り拓く力となるに違いない」と締めくくった。

岸田さんを受け持つ赤塚啓子国語教諭は「美月姫さんらしい素直で前向きなとても良い内容」と褒め、岸田さんは「努力は報われるとは限らないが、諦めなければ自分のものにきつと返ってくると思う。県大会では感情

を込めて発表する。少しでも自分の思いが伝われば」と話していた。上越地区大会の結果は次の通り(敬称略)。

【最優秀賞】▽「未来を切り拓く力」岸田美月姫(柿崎3)  
【優秀賞】▽「本の森小説の海」竹原和奏(大潟町3)▽「傷」がつ

かれない言葉の使い方原前々音(新井3)【奨励賞】▽「重自信」瀧本はるか(3)▽「読書量減っているのか」(清里2)▽「な自分」中田菜々子(2)▽「オンライン」目指して」吉田(郷3)

# 柿崎総ぐるみ あいさつ1,000人 大運動

9月12日(月)～15日(木)の間、第10回柿崎総ぐるみ あいさつ1000人 大運動が実施されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度もマスクを着用した中での活動となりました。中学校では、委員会ごとに日を決めて、全校生徒が活動に参加しました。また、中学生が出身小学校へ出向き、小学生や地域の皆さんと交流を図ることができました。地域の皆様から「中学生の笑顔で明るい気持ちになった」とお褒めの声を掛けていただき、率先してあいさつをする姿が見えました。



柿崎中学校 玄関前



下黒川小学校へ出向いて



上下浜小学校へ出向いて



柿崎小学校へ出向いて

## 校外学習 1年柿崎区内 2年大湊水と森公園 3年柏崎夢の森公園

今年度から体育祭が5月に変更になり、9月に校外学習を実施しました。例年実施していた遠足にこだわらずに、子どもたちが「地域を学ぶ活動、体験する活動」を取り入れました。子どもたちは、地域の新たな魅力を発見したり、初めての体験をしたりすることで、学校では経験できない貴重な1日を経験することができました。



1年 楞厳寺



2年 森と水公園 到着



3年 クラフトワーク



1年 柿崎川ダム見学



2年 噴水 みんなでジャンプ



3年 ザリガニ釣り

# 新人大会結果

卓球女子準優勝 テニス男子3位 野球、バレーボールはブロック2位

## ☆野球部 ブロック第2位

【1回戦】 柿崎 10-2 名立  
(5回コールド)

【決勝戦】 柿崎 0-4 糸魚川東



## ☆バレーボール部 ブロック第2位

【2回戦】 柿崎 2-0 城東

【決勝戦】 柿崎 1-2 雄志牧安塚合同チーム



## ☆卓球部 男子 団体 予選敗退

予選リーグ3位

【1回戦】 柿崎 1-3 春日

【2回戦】 柿崎 3-1 直江津中等

【3回戦】 柿崎 1-3 城西

2年生個人 2位 山賀 陽太さん

1年生個人 5位 八木 悠貴さん



## ☆卓球部 女子 団体 準優勝

予選リーグ1位

【1回戦】 柿崎 3-2 八千浦

【2回戦】 柿崎 3-0 板倉

決勝トーナメント

【準決勝】 柿崎 3-2 城西

【決勝】 柿崎 0-3 城東

2年生個人 5位 熊木 琴望さん

1年生個人 3位 神岡 桃香さん 5位 稲田 笑凜さん



## ☆ソフトテニス部 男子 団体 第3位

予選リーグ2位

【1回戦】 柿崎 3-0 城北

【2回戦】 柿崎 2-1 城西

【3回戦】 柿崎 1-2 新井

決勝リーグ 3位

【1回戦】 柿崎 1-2 糸魚川

【2回戦】 柿崎 1-2 城東



## ☆ソフトテニス部 女子 団体 ベスト8

予選リーグ1位

【1回戦】 柿崎 2-1 春日

【2回戦】 柿崎 2-1 雄志

決勝トーナメント ベスト8

【2回戦】 柿崎 0-2 頸城



## ビーチ・クリーン活動

柿崎中央海岸、柿崎漁港

10月1日(土)に環境委員会が中心となってビーチ・クリーン活動を実施いたしました。生徒会副会長の相澤さんの企画で、今年度初めて実施する活動です。生徒は地域の環境美化に取り組むことで「ふるさと柿崎を大切に作る心」が着実に育っています。また、2年生ではこの事業にPTA活動として参加し、親子で活動しました。

